

Y06b

大学院生出張授業プロジェクト (BAP) の活動報告 2013

篠木新吾, 山田崇人, 中島悠, 江崎和音, 横山広美 (東京大学), ほか BAP メンバー一同

大学院生出張授業プロジェクト (Back to Alma mater Project, 以下 BAP) は, 主に東京大学の大学院生からなる学生団体である. 大学での研究活動の魅力を主に高校生に伝えるために母校での出張授業を実施するとともに, このような出張授業を全国の大学院生に広めるべく活動している. 講師となるメンバーは専門を問わず広く募集しており, これまでにも天文学だけでなく人文社会系等幅広い分野の出張授業を行ってきた.

BAP は, 高校生にとって質の高い授業を作ることはもちろんだが, 講師である大学院生にとって準備の負担が少なかることをも目標に独自のシステムを築き上げてきた. 出張授業の本番実施前に行う練習会, 受講した生徒や先生方に回答していただくアンケート, 授業実施後の反省会, さらに過去の出張授業の情報がまとまったメンバー専用 web ページの活用などがそれである.

団体設立から約 5 年経った 2013 年秋にはこれまで実施した出張授業が 100 件を超え, 全国約 50 校で述べ 4400 名以上の中高生が BAP の出張授業を聴講してきた. その都度回収したアンケート結果から, 高校生や高校教員が大学院生の出張授業をどのように評価し, どう感じたのかを窺い知ることができる.

本講演では天文学に従事する大学院生による出張授業を例示して BAP の活動を紹介する. ポスターセッションではこれまでの授業で得たアンケート結果を紹介し, 広くアウトリーチ活動について議論する場としたい.